

「認知症治療薬の考え方、使い方」〈初版2刷〉正誤表

(2018年6月現在)

「認知症治療薬の考え方、使い方」〈初版2刷〉をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書に以下の誤りがございましたので、ここに訂正・加筆させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

119頁 表1

(誤) アセチルコリンエスラーゼ

一般名	ドネペジル塩酸塩	ガランタミン臭化水素酸塩	リバスチグミン	メマンチン塩酸塩
販売名	アリセプト <sup>1),2)</sup>	レミニール <sup>3),4)</sup>	イクセロン・リバスタッチ <sup>5)</sup>	メモリー <sup>3),4)</sup>
作用機序	アセチルコリンエスラーゼ 阻害作用	アセチルコリンエスラーゼ 阻害作用 APL 作用	アセチルコリンおよび ブチリルコリンエスラーゼ 阻害作用	シナプスでの グルタミン酸の作用抑制
適応ステージ	軽度・中等度・高度	軽度・中等度	軽度・中等度	中等度・高度
用量 (/日)	軽～中: 5 mg 高: 10 mg	軽～中: 16～24 mg 高: —	軽～中: 18 mg 高: —	軽: — 中～高: 20 mg
剤形の種類	錠剤, D錠, 細粒, 内服ゼリー	錠剤, OD錠, 内用液	経皮吸収型製剤	錠剤
服薬回数	1日1回	1日2回	1日1回	1日1回
半減期	70.66±16.57 時間 (D錠5 mg 単回投与・水なし)	8.0～9.4 時間 (4, 8 mg 単回投与)	3.3 時間 (18 mg, パッチ除去後)	55.3～71.3 時間 (5, 10, 20 mg 単回投与)
発売時期	1999年11月	2011年3月	2011年7月	2011年6月
国際誕生日	1996年11月	2000年3月	2007年7月	2002年5月

(誤) アセチルコリンエステラーゼ

一般名	ドネペジル塩酸塩	ガランタミン臭化水素酸塩	リバスチグミン	メマンチン塩酸塩
販売名	アリセプト <sup>1),2)</sup>	レミニール <sup>3),4)</sup>	イクセロン・リバスタッチ <sup>5)</sup>	メモリー <sup>3),4)</sup>
作用機序	アセチルコリンエステラーゼ 阻害作用	アセチルコリンエステラーゼ 阻害作用 APL 作用	アセチルコリンおよび ブチリルコリンエステラーゼ 阻害作用	シナプスでの グルタミン酸の作用抑制
適応ステージ	軽度・中等度・高度	軽度・中等度	軽度・中等度	中等度・高度
用量 (/日)	軽～中: 5 mg 高: 10 mg	軽～中: 16～24 mg 高: —	軽～中: 18 mg 高: —	軽: — 中～高: 20 mg
剤形の種類	錠剤, D錠, 細粒, 内服ゼリー	錠剤, OD錠, 内用液	経皮吸収型製剤	錠剤
服薬回数	1日1回	1日2回	1日1回	1日1回
半減期	70.66±16.57 時間 (D錠5 mg 単回投与・水なし)	8.0～9.4 時間 (4, 8 mg 単回投与)	3.3 時間 (18 mg, パッチ除去後)	55.3～71.3 時間 (5, 10, 20 mg 単回投与)
発売時期	1999年11月	2011年3月	2011年7月	2011年6月
国際誕生日	1996年11月	2000年3月	2007年7月	2002年5月

121頁 上から6・7行め

(誤) .....有意差がみられず ( $-0.32 \pm 0.41$ )、ドネペジル群で有意な低下 ( $-2.00 \pm 0.41$ ,  $p \leq 0.0005$ ) を示した。

(正) .....有意差がみられず ( $-0.52 \pm 0.39$ )、ドネペジル群で有意な低下 ( $-1.58 \pm 0.42$ ,  $p \leq 0.0005$ ) を示した。